

ハーモニー



伊奈病院は

(財) 日本医療機能評価機構の

認定病院です

理念

私たちは、安全で質の高い医療を提供し、患者さまに信頼される病院をめざします。

理念の実行方法

1. 私たちは、十分な説明と同意に基づき分かりやすい医療を実践します。
2. 私たちは、自己研鑽に努め、職員が一体となったチーム医療を実践します。
3. 私たちは、患者さまの意思・権利・プライバシーを尊重し、思いやりのある医療を実践します。
4. 私たちは、地域に信頼される病院を目指すとともに、職員としての誇りを持つ職場を作ります。
5. 私たちは、健全で効率的な病院経営基盤を確立し、地域の基幹病院としての使命を遂行します。

二科当直について

事務長 大野 晃宏

当院は、二次救急医療機関として、「救急医療体制の強化と断わらない医療の実践」を方針として掲げております。平成26年度は救急医療体制の強化対策として、日勤帯(日中)の救急担当診療科を二科(内科系・外科系)から三科(内科・外科・整形外科)にしました。

また、救急搬送受入を迅速に行うために、救急隊からの連絡を看護師が直接受けるダイヤクトインの実施(救急患者のスムーズな受入)、臨床検査技師の365日当直・診療放射線技師の当直日数増(迅速な検査対応)などを実施いたしました。その結果、救急搬送患者の受入は年間914件(対前年比189件増) 月平均76件(対前年比15件増)となりました。

平成27年度は5月より更に、救急医療体制の強化を図るため、毎週月曜日の夜間診療を医師2名体制による二科当直診療を開始いたしました。多くの二次救急医療機関において、夜間は医師1名で診療を行っており、受入が困難な状況もでてまいります。当院での受入困難な状況は、医師の専門外(傷病者の症状から専門処置が必要であるが、専門医が不在の場合)と重症患者対応中(重症患者対応などにより手が離せない場合)で受入困難件数全体の約80%。また、時間帯で比較すると、夜間帯に約65%救急搬送を受入できていないことから、夜間帯に専門分野の異なる医師を2名配置し、専門外や重複した救急搬送患者の受入を充実させることにいたしました。

今後二科当直の実施日数を増やすなど救急医療体制の充実を図り、地域の皆さまが安心して生活していただけるよう努めて参りたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願いたします。

連載 「骨が強くなる話」

こつそしょうしょう
伊奈病院骨粗鬆症リエゾンサービス委員会

その1 骨粗鬆症予防の大切さと「骨粗鬆症リエゾンサービス」

石橋英明 伊奈病院整形外科部長 / 「骨粗鬆症リエゾンサービス委員会」委員長

この連載について

骨粗鬆症リエゾンサービス、ってご存知でしょうか。「リエゾン」とは、連携、連絡係といった意味のフランス語です。

「骨粗鬆症リエゾンサービス」は、骨粗鬆症と、それによる骨折を防ぐために、医師や多職種のスタッフが連携してさまざまな観点から、骨粗鬆症に関する必要な予防や治療を確実に続けるための取り組みです。

伊奈病院では、この取り組みをしっかりと実行するために、「伊奈病院骨粗鬆症リエゾンサービス委員会」を創設し、確実な骨粗鬆症の改善、骨折の予防を進めることとしました。

この委員会では、骨粗鬆症と骨折の予防のために、様々な取り組みを計画しています。伊奈病院に入院または通院されている方々、伊奈町や近隣の地域の方々に対して、骨粗鬆症や骨折予防の大切さと、具体的な方法をお伝えしたいと考えています。

このハーモニーの連載「骨が強くなる話」は、委員会のメンバーで順に担当して、薬や栄養や運動や検査などについてお話していきます。まずは、骨粗鬆症で多い骨折のお話です。どうぞ、よろしくお付き合いください。

骨粗鬆症の骨折の特徴

実は、骨粗鬆症の骨折には特徴があります。早めに見つけて、早めに治療！

【1】 骨折しやすい部位がある

骨粗鬆症で多い骨折は、

- ① あしの付け根の骨折
 - ② 背骨の骨折
 - ③ 肩の骨折
 - ④ 手くびの骨折
- などです。

特に、あしの付け根（大腿骨近位部骨折）と背骨の骨折（脊椎椎体骨折）は、手術や入院が必要な骨折で、特に日々の生活や健康状態に影響が大きい骨折で問題になります。

【2】 骨折後は、再び骨折をすることが多い

骨粗鬆症による骨折を起こすということは、それだけ骨が弱くなっていることなので、次の骨折も起こしやすい状態と言えます。また、骨折を起こすとしばらくは十分に動けないため、骨がさらに弱くなって、筋肉が衰えて転倒しやすくなります。

たとえば、背骨の骨折が1個あると次の背骨の骨折を起こす確率が約3倍に増え、複数あると約7倍に増えることがわかっています。

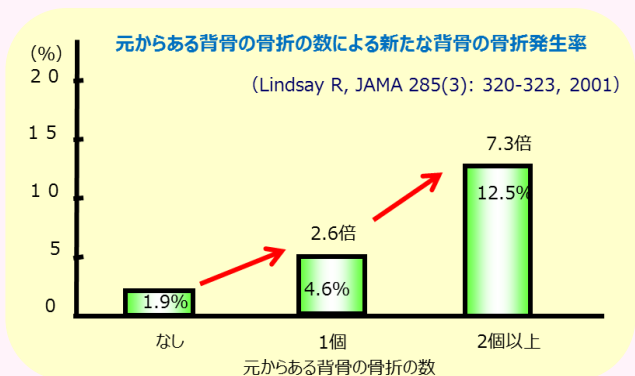
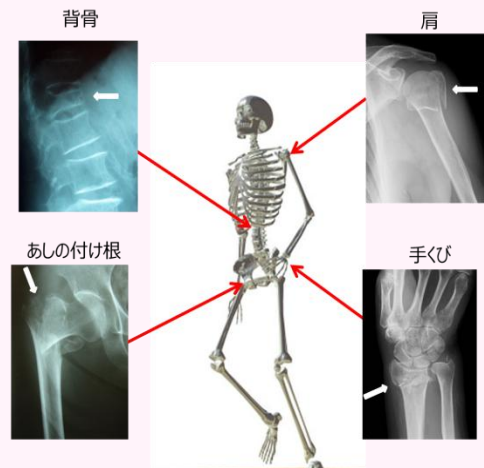
【3】 きちんと予防すると、骨折しにくくなる

今よく使われている骨粗鬆症の薬は骨折を半分から3分の1に減らすことがわかっています。また、骨や筋肉に良い栄養素を十分にとることも大切ですし、定期的な運動をすることで骨や筋肉が強くなり、転びにくくなる効果も得られます。

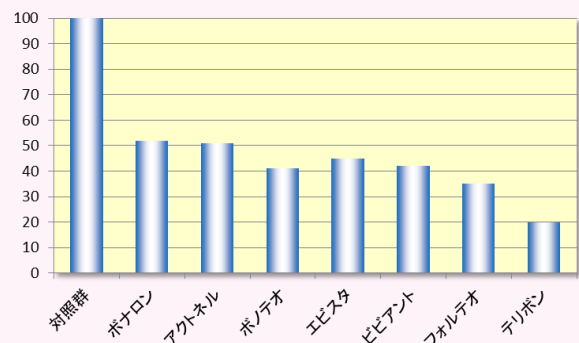
骨粗鬆症や骨折のことを知って、予防をきちんとすること。これで実際に骨折の予防ができるわけです。

気になる方は整形外科で相談を！

次回は、骨粗鬆症の薬についてです。



骨粗しょう症薬の新たな背骨の骨折の予防効果
(対照群-薬を飲まない群-との比較)



《地域医療連携にご協力頂いている先生方をご紹介します》

【みやうち内科・消化器内科クリニック】



院長：宮内 智夫

当院は、ニューシャトル「羽貫駅」の近くに内科消化器内科専門のクリニックとして平成25年10月7日に開設いたしました。現在、一般内科消化器内科、内視鏡内科、肝臓内科、感染症内科を中心に診察させて頂いておりますが、小児科も内科医としてできるだけ対応させて頂いております。

長年、伊奈病院で勤務し患者さまと関わらせて頂いておりましたが、今後は、開業医として患者さまにとって『身近で確かな、かかりつけ医』『見落としのない包括的な医療の提供』を目指してまいりたいと考えております。

今後ともよろしくお願いたします。

◇資格◇

- 医学博士
- 日本内科学会 認定医
- 日本消化器病学会 消化器専門医
- 日本消化器内視鏡学会 内視鏡専門医
- 日本肝臓学会 肝臓専門医
- 日本消化器学会 胃腸科認定医
- 日本医師会 認定産業医
- 日本化学療法学会 抗菌科学療法認定医
- ICD（インフェクションコントロールドクター）
- 身体障害福祉法指定医（小腸機能・肝機能障害）

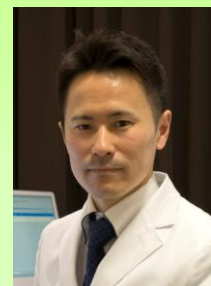
◇標榜科◇

内科・消化器内科・肝臓内科
内視鏡内科・小児科

◇病院情報◇

北足立郡伊奈町寿2-144-4
TEL：048-783-3751
予約：048-783-3752

【しらすき眼科医院】



こんにちは。しらすき眼科医院の院長の白崎慎英（しらすきのりひで）です。埼玉県蓮田市出身で高校生まで埼玉県で育ち、静岡県の大学に入学したことでしばらく静岡県で勤務しておりました。この度地元に戻ることをきっかけに開業を決意し、ご縁があり伊奈町で眼科医院を開院させていただくことになりました。

私は眼科医になって12年目になります。大学卒業後、静岡県の地域の総合病院で眼科診療に従事し、患者さんの不安な気持ちを少しでも解消できるようにわかりやすい説明を心がけてきました。得意分野は眼科手術で白内障手術を中心に糖尿病網膜症や網膜剥離（もうまくはくり）など治療のための硝子体（しょうしたい）手術、緑内障手術、眼瞼（がんけん）手術を積極的に行ってきました。また常に新しい医療を提供しつつ上げられるように積極的に学会・勉強会にも参加してきました。出身医局が浜松医科大学ということもあり小児眼科にも対応できます。

伊奈町には今まで眼科診療所がなく近隣の方々が眼科受診のため遠方まで行かれていたと聞いております。近くにいい眼科ができて、受診してよかったと感じていただけるような眼科医院を目指して精進して行きたいと考えております。目のことでお困り・お悩みならどんなことでも当院へご相談ください。少しでも不安を解消できるように努力して参ります。

昨年は伊奈病院に勤務しておりましたので伊奈病院の先生方とは顔なじみで積極的に病診連携を行っております。どうぞよろしくお願い致します。

◇病院情報◇

埼玉県北足立郡伊奈町大針847-1
TEL：048-792-0249
HP：<http://shirasaki-eyeclinic.com/>



放射線の窓 No. 1

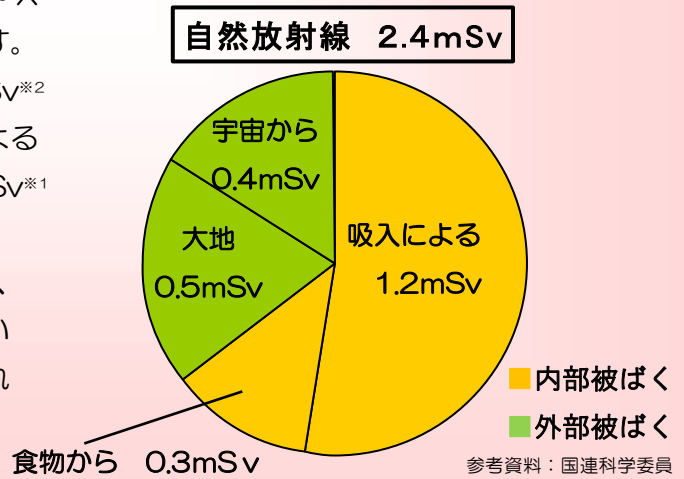
こんにちは。放射線科の岩切です。今回から放射線について連載させていただくことになりました。私は普段放射線を扱いながらレントゲン写真を撮っています。周りの友人に仕事のことを話すと「被ばくは怖くない?」「将来的に白血病になるんじゃないの?」などと言われることがあります。「放射線は怖い」という誤った認識が一人歩きしているため、言われるのだと思います。確かに放射線は怖いものですが、私たち診療放射線技師は放射線の専門家集団で、放射線の性質を理解しているので安全に扱うことができます。今回みなさんに放射線のことを知って頂くために、第一弾として自然放射線についてお話ししたいと思います。

地球上で生活している私たちは年間約 2.4mSv*1（世界平均）の自然放射線を受けています。太陽や星から一人当たり毎秒何百個という宇宙放射線をたえず浴び続けています。その被ばくの中身は内部被ばくと外部被ばくがあります。内部被ばくは体内に取り込まれた放射性物質からの被ばくで、放射性物質を含んだ飲み物、食べ物や空気を体内に摂取することで起こります。外部被ばくは体外から放射線を受けることで、宇宙や大地からの自然放射線やX線撮影など人工放射線を受けることで起こります。

こうした被ばくによる体への影響の度合いを、Sv*2という単位で表します。1年間の自然放射線による内部被ばくは 1.5mSv*1、外部被ばくは 0.9mSv*1（世界平均）です。

今回は放射線のいろはのいをお伝えしましたが、次回は放射線の感受性についてお話ししたいと思います。放射線のことでは何か分からないことがあれば気軽に放射線科にお声掛けください。

※1：ミリシーベルト ※2：シーベルト



緩和ケアの部屋

今回は、在宅での緩和ケアについてお話ししたいと思います。

病院やホスピス緩和ケア病棟だけでなく、自宅でも緩和ケアを受けながら療養を続けることができます。訪問診療医や訪問看護師が自宅に訪問し、苦痛症状を和らげたり、精神的支援や環境の整備を行います。在宅緩和ケアのメリットは、心の落ち着く環境で「自分らしく」日常生活を送ることが出来るという点です。住み慣れた家で療養することで、心理面のみならず身体面にもよい影響が現れることがあります。まずは、どのように過ごしていきたいと考えているのか、悩んでいることなどありましたら私たちにお話しください。当院でも専門職が連携し、患者さまやご家族の希望を支えていきます。

緩和認定看護師

佐久間 紀香



医療法人社団愛友会 伊奈病院

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 9419

TEL : 048-721-3692(代)

ホームページ :

<http://www.inahp.saitama.jp>

公式 facebook ページ : <http://www.facebook.com/inahospital>

伊奈病院
携帯サイト

右記のQRコードより
アクセスしてください。

<http://www.inahp.saitama.jp/mobile/>

